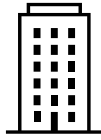


会社概要



設立：1951年4月1日
所在地：兵庫県神戸市西区2-1-2
資本金：9,950万円
従業員：227名（2023年時点）

業務内容



建設機械（ショベルカー）用油圧配管の製作、各種建設機械部品の組立、航空機リース事業



多国籍の人材採用で多様な価値観を取り入れる

水登社では、2018年に「インクルーシブ・コミュニティ」宣言を行い、お互いの個性や価値観を認めあい、すべての人が能力を発揮できる環境作りをすすめている。人材確保が困難となるなか、新たな発想と競争力を求め、多様な価値観を持つ外国人の雇用に目を向けてきた。

2023年現在、技能実習生22人、特定技能19人、高度外国人材（技人国等）15人と、社員の約4分の1が外国人。フィリピン、中国、スリランカ、イタリアなど、海外7か国からの社員が活躍している。長年働いている外国人社員は、輸入機械販売・購買や通訳業務、生産管理などの分野で監督職として活躍するとともに、日本人と外国人の間に立って業務の円滑化にも貢献している。

外国人雇用のためだけではなく“企業存続”のために必要なこと

異なる文化や価値観による衝突が起こり「これで合っているのか？」と悩む場面も多数ある。企業が意識すべきことは、「理念・方針」「経営者の本気」「尊重」の3つと考えている。

理念や方針に沿った判断であれば、社員に納得してもらえる。迷ったときに立ち返る大本の理念や方針を策定した。また、それらを経営者と社員でブラッシュアップしていく必要がある。経営者自身が一緒に取り組む姿勢がないと定着を望むのは難しい。そして、地盤として相手への尊重や配慮がなければ成り立たない。例えば、次の人が作業しやすいように部品の向きを揃える等の配慮が、品質や生産性の向上にも繋がるため、ものづくり企業としても大切な点である。

これらは外国人雇用という観点だけではなく、企業が存続するために必要なことだと考えている。

多様性が活かされる職場となるために

具体的な取り組みとしては、外国人社員向けの日本語やビジネスマナーの研修、翻訳した社内通達のSNS配信、などを行っている。専属の生活支援員による相談窓口も設置し、私生活での悩みも含めた様々な相談が寄せられている。祈祷時間に応接室を利用できるようにしたり、社内イベント時に食材確認を行うなど、宗教的な配慮も欠かさない。また、日本人社員向けに「やさしい日本語」の研修を行い、方言や擬音語等、外国人に伝わらない日本語を使わないよう意識づけをしている。

日々何らかの問題は発生するが、それぞれの部署でメンバーが納得いくように解決策を考えることも多い。外国人社員の疑問や提案をきっかけに長年の習慣が見直されることもある。

給料面を見れば、水登社より待遇のよい企業はある。転職相談があれば、雇用条件全体を見て、何を優先したいのかを再確認してもらうようにしている。海外では転職が一般的な国もあるが、一つの企業に長く勤める日本の働き方の良さを先輩外国人社員が後輩に伝えてくれるようになり、外国人社員の定着にも繋がっている。



日本語ビジネスマナー研修



バスケットボールイベント（フィリピン人社員と生活支援員）

世界に通用する企業になるため 世界の価値観を社内にも

世の中は、異なる文化や考え方を持つ様々な人々で成り立っている。水登社は、こうした社会の縮図が会社の中にもあるべきだと考えている。世界の中で存続していくためには、多様な考え方をもち、柔軟に対応できる企業となる必要がある。

システムやITではまかなえない「人」が必要な作業は、これから先も残る。多様なメンバーから生まれる新たな発想や競争力が、今後の企業の土壌に不可欠であると水登社では考えている。

（インタビュー日：2023年10月）

